

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当

昭和58年8月3日 第17報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Phormidium tenue*</i>	40		
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	100		
(黄鞭) <i>Chrysosphaerella sp.</i>	200	○	
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	60		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	100		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	80		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	20		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	100		
(緑) <i>Micractinium pusillum</i>	200	○	
(緑) <i>Quadrigula lacustris</i>	160		
(緑) <i>Oocystis sp.</i>	40		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	2560	◎	○
(緑) <i>Mougeotia sp.</i>	120		◎
(緑) <i>Closterium aciculare var. subpronum</i>	20		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	20		
(緑) <i>Staurastrum asterias</i>	20		
(藍) 藍藻綱	40	1.0	0.1
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	360	9.4	0.8
(珪) 珪藻綱	200	5.2	2.4
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	100	2.6	2.2
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	3140	81.8	94.5
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	3840	総体積	7.72E+06
種 類 数	16	(μm^3)	

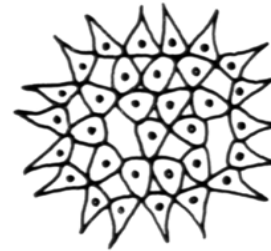
- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	2560

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Micractinium pusillum</i>	200

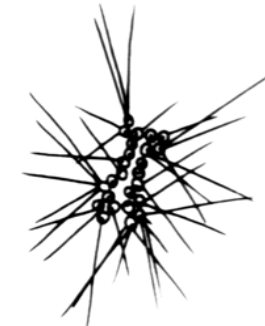
植物プランクトン第1優占種



Pediastrum biwae
(ピワクンショウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。

植物プランクトン第2優占種



Micractinium pusillum
(ミクラクチニウム)
緑藻綱

細胞は球形または幅広い楕円形で、杯状の葉緑体と1ヶのピレノイドを有す。各細胞は数本の細長い突起を持ち、群体をなす。